

平成29年度第2回自治体等FM連絡会議多摩地域会の開催報告

多摩地域会代表幹事 東京都府中市行政管理部建築施設課
公共施設マネジメント担当 高橋 翔

開催日 平成30年2月7日(水) 午後1時30分から午後4時40分まで
開催場所 武蔵野スイングホール スカイルーム(東京都武蔵野市)
参加者数 54人(多摩地域22団体47人、その他5団体7人)

内容報告

1 講演「流山市のFMによる施設保守管理の取組み ~ 包括施設管理業務委託等について ~」 講師 流山市総務部財産活用課ファシリティマネジメント室 枝松 久雄 氏

平成29年度第2回の多摩地域会では、「施設の計画的な保守管理に向けた取組」をテーマとする中で、流山市の枝松氏にご講演いただき、デザインビルド【流山方式】による包括施設管理業務委託やE S C O事業など、施設の維持管理における先進的な取組について説明いただいたほか、PPPによる様々なFMの取組を紹介いただきました。流山市のファシリティマネジメント室が「FMの何でも屋」として精力的に、また、着実に取組を進めている様々な事例を伺うことができ、大変参考になったとともに、非常に刺激になりました。



2 事前アンケート(施設の保守管理と予算に関する取組)の集計結果について

今回の地域会の開催に当たり、多摩地域26市に対して、施設の保守管理等に係る担当課や、全庁共有の点検マニュアルの有無、予算化の流れ等についてアンケートを実施しており、その取りまとめ結果を共有するとともに、当該結果について、参加者同士の質疑応答を実施しました。多数の自治体から発言があり、参加者の積極的な姿勢が伺えました。



3 職員同士の意見交換

1グループ6人程度で、FMに関する各市の取組について、自由に意見交換できる時間を設け、様々な情報交換や意識の共有を図ることができました。

4 その他

終了後のアンケートでは、包括管理業務委託の検討を進める自治体から、流山市の講演が非常に参考になったという意見を多くいただきました。また、包括管理業務委託以外にも様々なFMの取組を進めている流山市の姿勢・意識に感化された旨の意見も多く寄せられました。

また、事前アンケートの集計結果に基づく質疑応答や職員同士の意見交換についても、参考になったなど、好意的な意見が集まり、課題の共有や、事例を交換し合うことができる有意義な時間とすることができました。

全体を通して、誰かの話を聴くというだけでなく、参加者それぞれが声を発する機会のある活発な会とすることができました。次回以降取り上げて欲しいテーマとしては、個別施設計画の策定や学校施設の再編などが寄せられていますが、今後についても、今回ご参加いただけなかった自治体も含め、近隣自治体のFM関係者が意見交換や交流を行い、それぞれ抱える共通の課題について、様々な立場から検討・検証し、その結果や過程を共有する1つの機会として、引き続き多摩地域会を開催したいと考えております。今後とも皆さまのご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。